



大阪府連通信  
2019年3月号

日本中国友好協会  
大阪府連合会  
〒530-0012  
大阪市北区  
芝田2-3-19  
東洋ビル本館207  
TEL06-6372-8131  
FAX06-6372-8132  
郵便振替口座  
00970-5-8978  
E-mail: info@  
jcfaosaka.org  
http://  
jcfaosaka.org/

# 大阪で5つ目の城北支部が誕生 地域で運動が広がり交流が深まる

支部結成をめざしてきた城北支部準備会が、2月17日結成総会を開き、議案、役員が満場一致で採択され、2017年の堺支部につづく府連での5つ目の支部となりました。総会に先立ち、山本恒人副会長による、「中国の夢と私たちの2019年」と題する結成記念講演会が行われました。

結成総会には、渡辺会長はじめ西支部、堺支部の代表も駆けつけ、新支部結成を祝いました。準備会代表の佐藤倫理さんは支部結成の意義を、地域で日中友好運動ができて、視野が広がり交流が深まること、そして、今後は大きく強固な支部を作りたいたいとおっしゃりました。

3人の方が発言し、最長老の川村勝美さん(94歳)は、「ご自身の満蒙開拓青少年義勇軍、シベリヤ抑留体験、帰国後の商売(かつら製造販売)を

通じての中国とのかかわり、文革時、支持しない事での経営の苦労などを発言しました。講演会に参加し、すぐに入会された内藤久雄さんは、引揚者として帰国後就職でも差別された体験、日中との関わりを話されました。中居多津子さんは「1820年当時、中国が世界で最大のGDPシェアを誇り、32.9%を占め、米国はわずかに1.8%、西欧も合わせて23%のシェアしかなく、清王朝時代は世界の中心であった」という説明に、私たちが学校で近現代史を習っていない知らない事実がありもつと学びたいと講演会の感想を述べました。



結成後の懇親会でも絆がさらに深まりました。(松尾 豊)

## こんな楽しい春節のつどいは初めて 来年も元気でこの会に参加したいわ

「こんな楽しい春節のつどいは初めて!」「何回も出席してはじめて!」「何回も出席してはじめて!」「何回も出席してはじめて!」

「伊田助男さんって聞いたことあったけど、箕面から参加の方たちの話よく分かった。」

「お店にはない中華料理、美味しかった!」「京劇ってあんなんとは知らなかったわ」「IRってどんなにかよう分かったわ、集行かんとあかんね。」

「あんな本格的な二胡の演奏初めて聞いた。」「いろいろ支部があつてそれぞれの特徴を生かした発表、関心した。」

「堺支部のプレゼンテーション、空海のこと今まで知ってつもりだったけど...現地に鞠みたいなの(毬子)楽しそう」

「今年は大極拳がなかったね。」「抽選会できれいなカレンダー当たった!」「それ空くじなしの残念賞と違うの?」

2月24日(日)大阪帰国者センターで『春節のつどい』が平常任理事の名司会で開催されました。例年がない盛り上がりで、あつという間に時間が過ぎてしまいました。最後参加者の印象的なひとこと「来年も元気でこの会に参加したいわ」



(石井)

### 中国語講座 4月開講

4月1日(月)~9月6日  
20回 2時間授業  
見学は随時、要申込み  
**無料入門レッスン**  
3月26、28、30日  
府連205号教室

### 全国きりえコンクール 募集締め切り近づく

「日中友好新聞」の紙上コンクールから始まった、きりえコンクールも50回を超えました。画集刊行、全国巡回展実施、秀作葉書発行と普及を続けてきました。近年は東京で秀作作品の展示を開催しています。今年も、4月8日から10日間、日本本部への搬入です。大阪府連では「出品の呼び掛け」「まとめて送る」準備を進めています。

### カジノあかん市民集会

3月23日(土) 14時~  
アクア文化ホール  
阪急宝塚線「曽根」東へ5分  
講演: 大谷大学教授 滝口直子  
国学院大学名誉教授 横山寶  
ゲスト出演: 笑福亭竹林

# 空海の初上陸地「赤岸鎮」へ 福建省赤岸鎮 空海祈念堂訪問記 ⑧

## 習近平の銘板

空海が立ち寄ったのは福州の開元寺である。

お寺では読経が始まっていた。

小さなマイクを手にして経を唱える僧を先頭に様々な楽器を手にした数名の僧が続く。そのあとを、祈禱を願った家族が続き、仏像の周りを右回りに歩く。

## 久しぶりのお寿司

お寺のすぐ横に日本食レストラン「福原屋」があった。主人は大

阪の天六で日本料理を習い、6年前に福州で日本食店を開いたという。当時、10軒しかなかった日本料理店は、現在100軒をこえ、福州大学の日本語教師や企業の人たちがやってくるという。

久しぶりのお寿司で、この旅を終えることになった。

## 黄檗山萬福寺

## 福清市にある

## 臨済宗発祥の地

京都宇治にある黄檗山萬福寺。このお寺を作った隠元和尚のお寺が福州の近くに

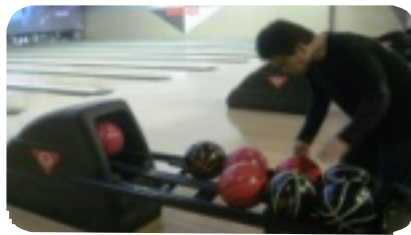
ある。名前も黄檗山萬福寺。福建省福清市漁溪鎮にある臨済宗発祥の地。日中の歴史交流を知ろうと、ぜひ訪問したいお寺である。(完)



(堺支部長 浅田勝美)

# 西支部 餃子の会とボーリング大会

3月3日の餃子を作る会は例年の水餃子に加え、焼き餃子も作り、持ち寄りの手料理や黄さんの本場の中華料理「よだれ鳥」もいただきました。初参加者も餃子の皮や餡づくりを4班に分かれ、来客への感想を聞きました



2月20日、北区ラウンドワンで、恒例のボーリング大会が

開催されました。恒例のボーリング大会が

# 第110期中国語講座

## 4月1日から開講

開講中の第109期中国語講座は、3月中旬で終了します。

現在次期の申し込みを受け付けています。ホームページを見ての方は、すでにどこかで習ったことがある経験者で、見学に来られる方もあります。また、元受講生の申し込みもありました。

受講者は、ここ数期、減少傾向が続いています。宣伝方法についても検討していますが、特に初心者との問い合わせがありません。ぜひご紹介ください。詳しい内容は「ホームページ」をご参照ください。

また、大阪府連合会までお問い合わせください『案内』をお送りします。

# 「中国製造2025」ってなに？①

府連通信2月号で「トランプが仕かけた米中衝突の意味」を掲載しました。そこで述べた「中国製造2025」とは、一体どういう計画なのか解説します。

中国は「モノづくり大国」ですが、「モノづくり強国」とはいえません。現在、輸出の主力となつている製品の多くは低付加価値品です。ここでは強力な競争力を持っていますが、まさ

「中国製造2025」の発展段階目標		
第1段階	2025年	世界の製造強国入り
第2段階	2035年	製造強国中、中位に
第3段階	2045年	製造強国のトップに

バル化した生産分業体系における付加価値のぶん取り合戦」でのサンドイッチ状態におかれているのです。それゆえ、工業基盤を強化し、製造製品領域のアップグレードをはかり、さらに先端産業まで範囲拡大を進めなければ、先進国トップにまではたどりつけません。そこで登場したのが「中国製造2025」なのです。

(府連副会長 山本恒人)